

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	学校教育教員養成課程
コース等名	教科教育コース技術教育選修
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育及び社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2. 自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3. 自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
学校教育教員養成課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>子どもを愛し教育および教職に対する責務を深く自覚することを基礎として、児童・生徒の生活指導から教科指導に渡る幅広い能力を持った人材を養成する。また、教職を目指すものとして、自らの生き方について謙虚に反省できる人材を養成する。</p>	
学校教育教員養成課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の理念や教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。 2. 児童・生徒の心身の発達段階や教育方法・技術の基礎を理解修得し、発達段階に応じた指導をすることができる。 3. 道徳・特別活動・生徒指導に関する教育方法を修得し、児童・生徒の生活全般に渡る指導を行うことができる。 4. 参観・参加実習、介護等体験実習、基本実習、委託実習および事前・事後指導の経験を通して教育現場における指導全般を実践的に理解・体得し、現場での適切な指導を行うことができる。 	
教科教育コース技術教育選修の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>技術分野の講義、演習、実習を通して、ものをつくる楽しさや手ごたえを知り、生きて働く知恵や仕事に向かっていく力、工夫創造する能力などを培い、人間としての調和のとれた成長を目指す。同時に、これらを学校現場で指導できる人材を養成する。</p>	
教科教育コース技術教育選修の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	

1. 技術の各分野（技術科教育法、電気、機械、木材加工、金属加工、情報、栽培）の専門的内容を理解し、小中学校等における教育実践に生かすことができる。
2. 各分野の演習技術を習得し、安全等に配慮した技術教育に係わる指導を行うことができる。また、コンピュータを有効に活用することができる。
3. 課題に係わる研究を通じて、演習などの計画立案、実施、評価および実施計画の改善をする能力を養い、結果を文書にまとめ発表することができる。また、学校現場における課題解決型学習の指導に生かすことができる。